

がん患者向け情報は適切か、充分か？



第47回 日本癌治療学会学術集会 ランチョンセミナー 23
2009年10月23日(金) 12:00～12:50 ● パシフィコ横浜 第8会場 418

定員
120名

がん患者向け情報は適切か、充分か？

—より良い患者・医療者関係のためのコミュニケーションを目指して

演題1

がん患者が求める情報

橋本明子 NPO日本臨床研究支援ユニット がん電話情報センター(CTIS)/NPO血液情報広場つばさ

演題2

がん領域における情報格差の現状と対策

高山智子 国立がんセンター がん対策情報センター

演題3

がん患者を翻弄させるウェブ情報の実態

後藤 悌 東京大学大学院医学系研究科呼吸器内科学

演題4

ウェブサイト JPOP-VOICE:

がん患者の体験動画に見る質的情報の意義

宮田裕章 東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学

パネルディスカッション

「混沌から、より良い患者-医療者関係の構築へ」

(司会) 大橋靖雄 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学生物統計学/財団法人パブリックヘルスリサーチセンター-JPOP委員会委員長



共催：第47回日本癌治療学会学術集会/財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会 / NPO法人日本臨床研究支援ユニット がん電話情報センター / 国立がんセンター がん対策情報センター